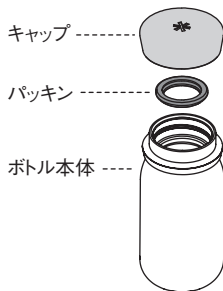


TW-351 / TW-501
ステンレス真空ボトルタイプM 350 / 500

この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、ステンレス製まほうびんです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

セット内容 (各部の名称)


※パッキンは消耗品です。汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら交換をしてください。交換部品については弊社オンラインストアよりお買い求めください。

交換用パッキンの品番(名称)
XTW-350-03 (パッキン2pcsセット)

※交換用パッキンはTW-350 / 351 / 501で共用です。
 ※パッキンの取り付け方法についてはP6を参照してください。

スペック (品質表示)

※()内TW-501

- 品名 ステンレス製まほうびん
- セット内容 ボトル本体×1
キャップ×1
取扱説明書(本書)×1
- サイズ 155mm × Φ74mm
(200mm × Φ74mm)
- 容量 350ml(500ml)
- 重量 ボトル本体166g(210g)
キャップ37g
- 原産国 日本製
- 材質 ボトル本体/ステンレス
(外側アクリル樹脂塗装)
キャップ/ポリプロピレン
パッキン/シリコーンゴム

- 保温効力 保温効力:68度以上(6時間)
保冷効力:8度以下(6時間)
(保温効力:74度以上(6時間)
保冷効力:8度以下(6時間))

※保温効力とは、室温20度±2度において製品に熱湯を取扱説明書に記載の位置まで満たし、縦置きにした状態で湯温が95度±1度のときから6時間放置した場合におけるその湯の温度。

※保冷効力とは、室温20度±2度において製品に冷水を取扱説明書に記載の位置まで満たし、縦置きにした状態で水温が4度±1度のときから6時間放置した場合におけるその水の温度。

安全上の注意事項 ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

本取扱説明書における警告と注意について

⚠ 危険 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険、および物的損害の発生が想定されることを示します。

⚠ 危険

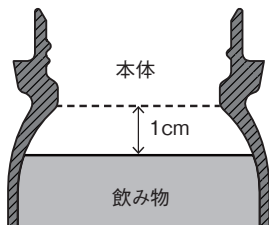
- 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。またいたずらには十分注意してください。(やけどやケガの原因となります)
- ボトル本体やキャップを直接火にかけたり湯煎するなど、加熱しないでください。爆発や溶解の恐れがあります。(やけどやケガの原因となります)

⚠ 警告

- 本製品を飲み物の保温、保冷以外に使用しないでください。
- 熱い飲み物を入れて使用する場合は本体を傾けながらキャップを開けたり、顔を近づけてキャップを開閉しないでください。(飲み物が吹き出したり飛び散ってやけどやケガの原因になります)
- ストーブや直火などで高温になる場所へは近づけないでください。(やけどや変形、変色の原因となります)
- 熱い飲み物を注ぎ、キャップを閉めた直後は、ボトルを移動させる、勢いよく傾けるなどの衝撃を与えないでください。商品の構造上、衝撃により飲み物が勢いよく飛び出し、火傷やケガなどの重大な事故に至る恐れがあります。
- 飲み物を入れた状態で長く放置しないでください。(飲み物に変質、腐敗するとガスが発生し、内圧が上がり、キャップが開かなくなる、飲料が吹き出る、部品が破損してケガや周囲を汚す原因となります)

⚠ 警告

- 熱い飲み物を入れて使用するときは、本体を急に傾けないように注意して、ゆっくりとお飲みください。
- キャップのパッキングが正しく取り付けられていることを確認してください。またキャップが確実に閉まっていることを確認してください。(内容物がもれて、火傷やものを汚す原因となります)
- 飲み物の量は図の位置までにしてください。(入れすぎるとキャップを閉めるときに飲み物があふれてやけどをしたり、周囲を汚す原因となります)
- 自動車走行中は使わないでください。
(やけど・車内や衣服を汚す原因となります。また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です)
- 以下のものは絶対に入れないでください。
(内圧が上がリ、キャップが開かなくなる、飲料が吹き出る、部品が破損してケガや周囲を汚す原因となります)
 - ・ドライアイス・炭酸飲料。
 - ・牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすい飲み物。
- 電子レンジで加熱しないでください。(火花が飛んで、ケガ・故障の原因となります)
- ボトル本体・キャップを煮沸したり、食器洗浄機・食器乾燥機を使用しないでください。
(熱によりボトル本体やキャップが変形し飲み物がもれてやけどや周囲を汚す原因となります)
- 飲み口にヤカンなどの注ぐ容器を当てないでください。
(転倒してやけど・ケガ・傷や変形の原因となります)



⚠ 注意

- かばんや袋に入れたまま放置しないでください。
(周囲の環境などにより、サビ・においの原因となります)
- 本体外側が濡れている状態でカバンなどに入れしないでください。
(サビ・におい・汚れの原因となります)
- かばんなどに入れるときは、万一のもれを防ぐために、本体を立てて入れてください。
(横に入れるともれの原因となります)
- みそ汁・スープなど塩分を含んだものは入れしないでください。
(腐敗・変質・サビの原因となります)
- 倒したり、落したり、ぶつかけたりする等の強い衝撃を与えないでください。
(破損・保温効果の低下・サビ・塗装剥がれ・内容物のもれの原因となります)
- 本体外側の底に貼ってある保護シートは、絶対にはがさないでください。
(保温効果が低下する恐れがあります)
- 分解・修理はしないでください。(故障や事故の原因となります)
- 大きな氷を入れる時は、押し込まず小さくしてから入れてください。
- お茶の葉・果肉などは入れしないでください。(もれる原因となります)
- スポーツ飲料を入れた場合は、使用後すぐお手入れをしてください。
(外出時など十分なお手入れができない時でも、すぐ本体内側をよく水ですすいでください。カビやサビ、穴があくなどの原因となります)
- 冷凍庫に入れしないでください。(内容物のもれや、破損の原因になります)
- 塩素系漂白剤は使わないでください。(サビ・塗装はがれ・穴があく原因となります)
- 逆さにして置かないでください。

ご使用方法

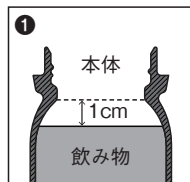
ご使用間には必ず本体を十分に洗ってください。

①飲み物を入れる

飲み物の量は図①の位置までにしてください。入れすぎるとキャップを閉めるときに飲み物があふれる原因となります。

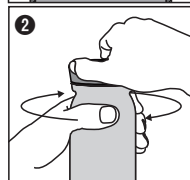
予め容器の図①の位置まで熱湯を注ぎ30秒程度待った後、熱湯を捨ててから飲み物を入れると保温効果が高まります。

予めボトル本体を冷蔵庫に30分程度入れて冷しておき、その後飲み物を入れると保冷効果が高まります。



②キャップを閉める

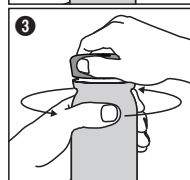
ボトル本体を垂直に立てた状態でキャップを乗せ、時計方向に回して確実に閉めます。



③キャップを開く

キャップを開く時は本体を垂直に立てた状態で本体の上下を握りながら、半時計方向に回しボトル本体から取り外します。

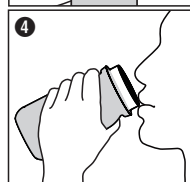
キャップを取り外すときは本体を傾けたり揺らしたりしないでください。飲み物が溢れる原因になります。



④飲み物を飲む

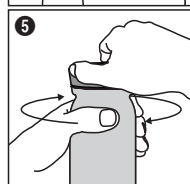
熱い飲み物を入れて使用するときには、本体を急に傾けないように注意して、ゆっくりとお飲みください。

キャップを外す時は熱い蒸気が出ますのでご注意ください。



⑤キャップを閉める

本体を垂直に立てた状態でキャップを時計方向に回して確実に閉めます。

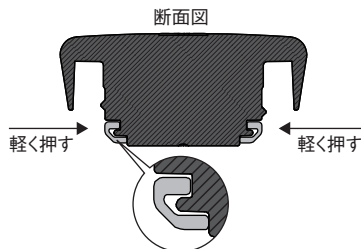


メンテナンス方法

- 使用後は、必ずその日のうちにお手入れをしてください。
- 洗剤は、食器用中性洗剤をぬるま湯で薄めて使用してください。
- スポンジ・布はやわらかいものを使ってください。
- パッキンは必ずキャップから外して洗浄してください。
- 保管の際はきれいに汚れを落とし、十分に乾燥させてから風通しの良い涼しい場所にキャップを外して保管してください。⚠ 食器洗浄機・食器乾燥機を使用しないでください。

洗い方	ポトル本体		キャップ	パッキン
	内側	外側		
流水洗い	○	×	○	○
酸素系漂白剤 (つけ置き洗い)	○ キャップは閉じない ようにしてください。	×	○ 必ず本体から取り外 した状態で洗浄してく ださい。	○ 必ずキャップから取り外 した状態で洗浄してく ださい。
塩素系漂白剤	×	×	×	×
洗浄時の お手入れ方法	やわらかいスポンジで洗い流水でよくすすいだ後に、十分に乾燥させます。	薄めた食器用洗剤をやわらかい布に含ませてよく絞り、汚れを拭き取ります。	パッキンを外してキャップ本体をやわらかいスポンジで丁寧に洗い、十分に乾燥させてます。汚れがひどい時はつけ置き洗います。	キャップから外してやわらかいスポンジで丁寧に洗い、十分に乾燥させてからキャップの下記の正しい位置に取り付けます。汚れがひどい時はつけ置き洗います。

パッキンの取り付け方



○
ゆがみのない同心円になるように取り付けます。



〈下からみた図〉

×

ゆがみがあると飲み物が漏れる原因になります。

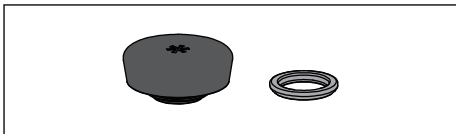


こんな時は…

トラブル	原因	対処方法
飲み物が漏れる	キャップが確実に閉まっていない	キャップはボトル本体に垂直に立てた状態で時計方向に確実に閉めてください。
	飲み物の入れすぎ バックンが取り付けが正しくない	飲み物は決まった量までにしてください。(P3参照) (P6参照)
	バックン破損、消耗	弊社ユーザーサービス係にバックンを注文してください。 (P8参照)
キャップを閉じた直後にキャップが開かない	飲み物から発生した蒸気で内圧が上がる	数時間待って飲み物の温度が下がってから開栓してください。
保温・保冷力が低い	飲み物の量が極端に少ない	飲み物の量を増やしてご使用ください。※決まった量までにしてください。
	飲み物の温度が十分に熱く(冷たく)ない	十分に熱した(冷した)飲み物を入れてください。ボトル本体内側を予熱(予冷)しておくことより効果的です。
ボトル本体内側が変色した	ボトル内部の洗浄が不十分	柄のついたスポンジで内部を洗い、酸素系漂白剤をボトルの中に注ぎ時間をおき、きれいに洗い流してください。このとき酸素系漂白剤がボトル外側に触れないようにしてください。
	食器洗浄機を使用した	食器洗浄機・食器乾燥機は使用せず、決まった洗い方で洗浄してください。(P6参照)
異臭がする(カビ臭い)	ボトル内側・キャップの洗浄が不十分	柄のついたスポンジで内部を洗い、酸素系漂白剤をボトルの中に注ぎ時間をおき、きれいに洗い流してください。キャップはバックンを外し、柔らかいスポンジで洗浄した後に酸素系漂白剤でつけ置き洗いしてください。
緑茶が赤茶色に変色した	長時間保存による成分の変質	緑茶は短時間の保存でも変質することがあります。飲用にあって害はありませんが、早めに飲み切ることをお勧めいたします。

消耗品のお買い求めについて

キャップ・パッキンは消耗品です。(熱や蒸気にふれるためご使用にともない傷んでくる場合があります。)1年を目安にご確認ください。汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら交換してください。交換部品については以下のスノーピークユーザーサービスにお問い合わせもしくは、弊社オンラインストアよりお買い求めください。



交換用パッキンの品番(名称)

XTW-350-03(パッキン2pcsセット)

※交換用パッキンはTW-350 / 351 / 501で共用です。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店様もしくは弊社または各製品に記載された連絡先にご相談ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には修理できない場合もありますので予めご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害など商品の寿命
2. 改造および粗雑な取扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不測の事故による商品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミやさびによる故障
7. 分解したことによる不具合の発生または破損
8. 落下やその他の衝撃による部品の变形や破損による不具合
9. 摩擦によるパーツの変化及びそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所をはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 1. 保証対象の場合:往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 2. 保証対象以外の場合:往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

☎ **0120-010-660** (9:00~17:00)

Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel. 0256-46-5858 Fax. 0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN JAPAN